

株式会社 **MORESCO**

地球にやさしいオンリーワンを世界に届けるMORESCOグループ

第 6 5 期決算説明

(2022年3月1日～2023年2月28日)

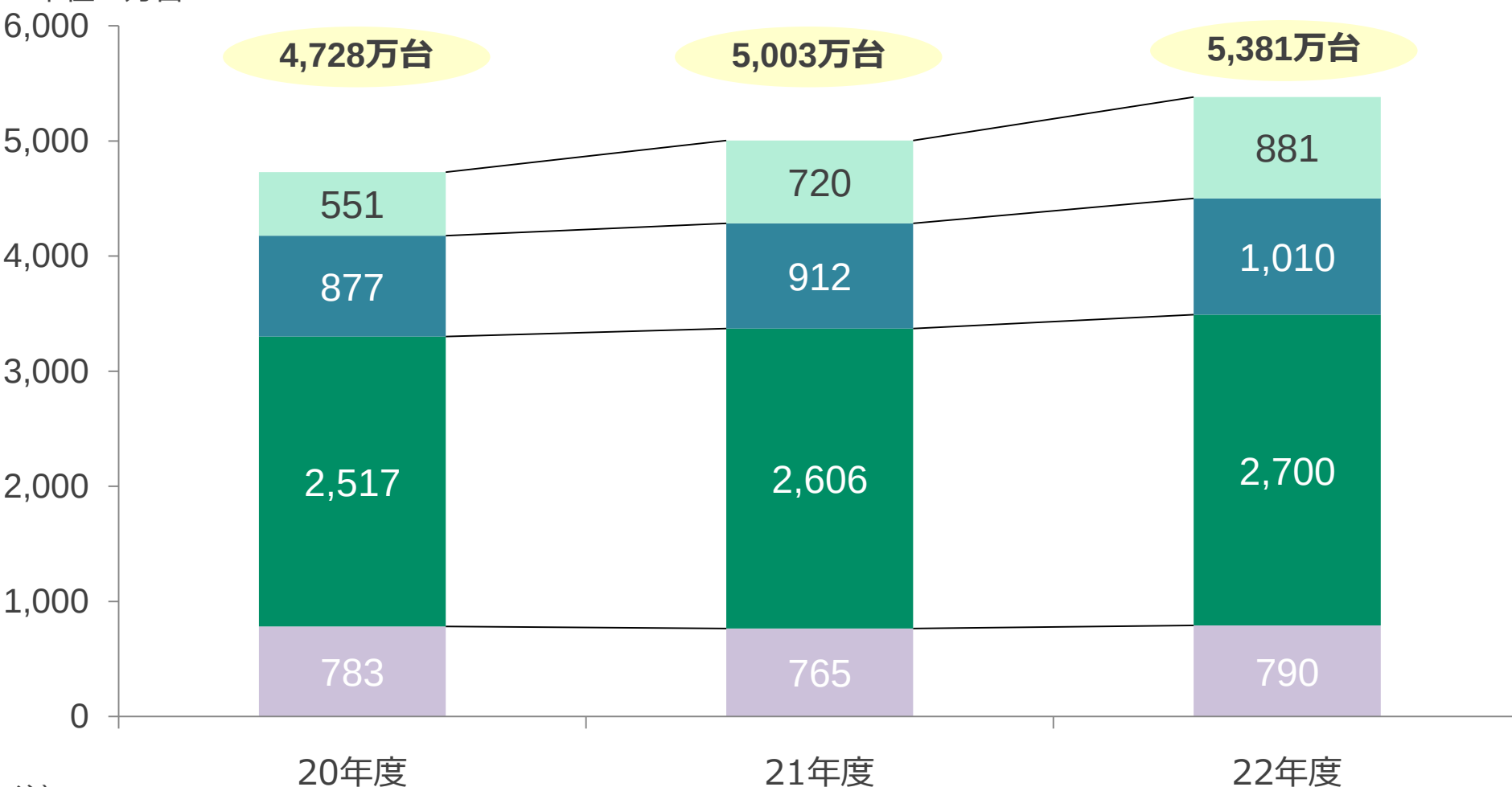
東証プライム 5018 (石油・石炭製品)

2023/4

当社拠点所在地における自動車生産台数

出典：マークラインズ社

単位：万台



注)

①日本は3～2月で、海外は1～12月で集計

②東南/南アジアはタイ、インドネシア、インドを集計
(当社製造販売拠点所在地)

■ 東南/南アジア

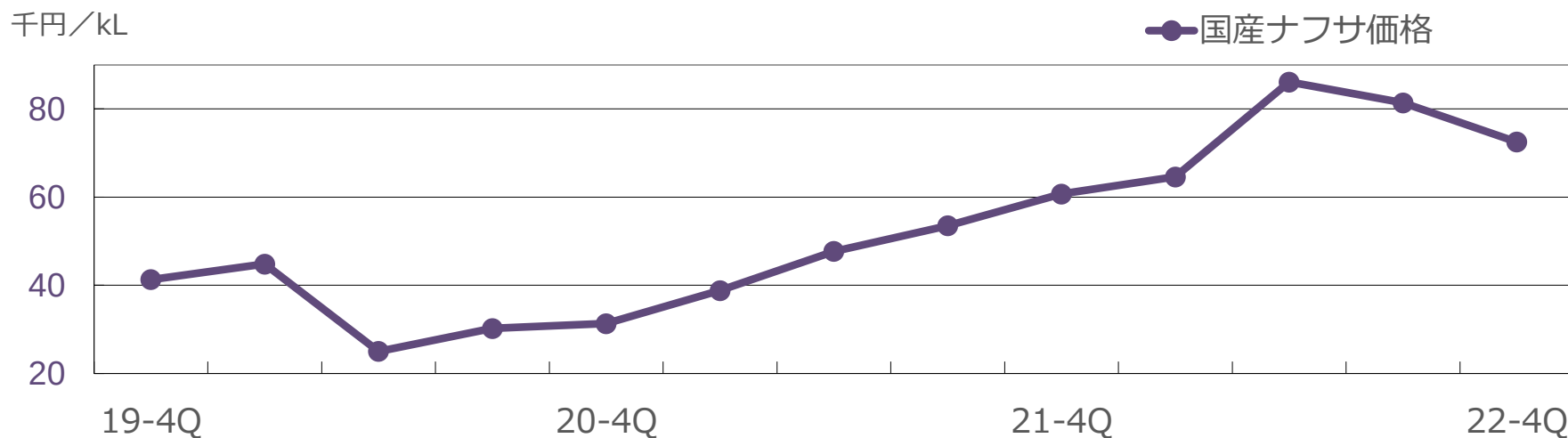
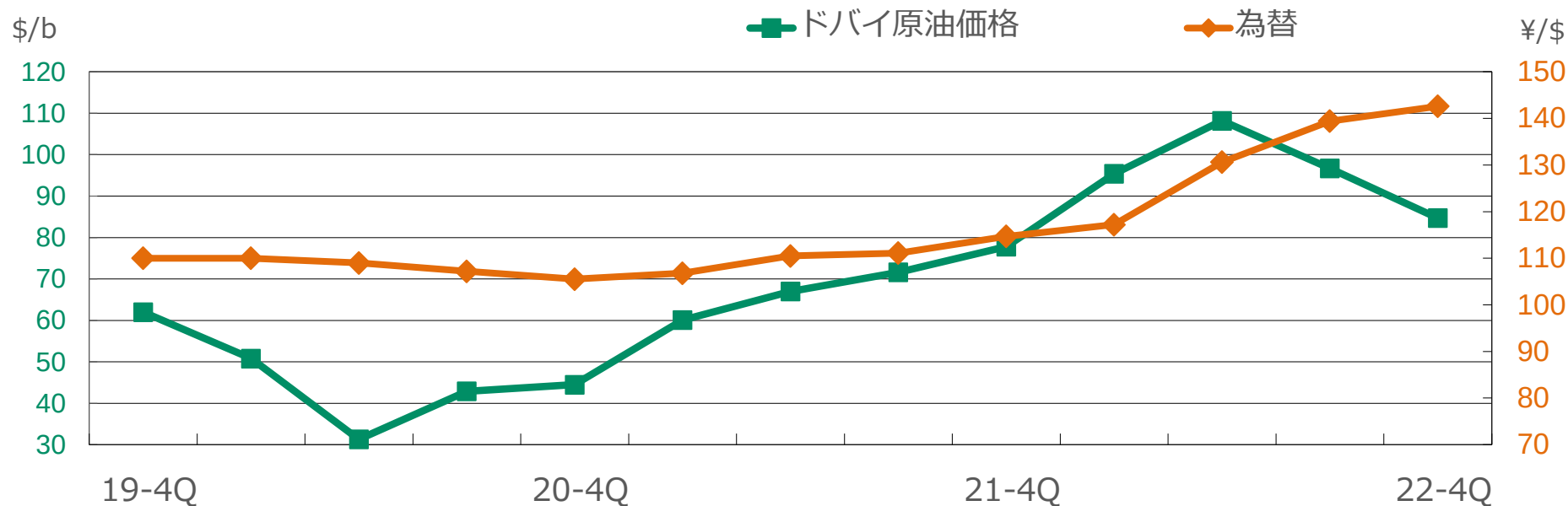
■ 米国

■ 中国

■ 日本

当期の経営環境（２）

MORESCO



- 原材料価格高騰等に伴う販売価格の是正により増収になるも、転嫁までタイムラグが生じていること、前期の特別利益の剥落もあり減収。

単位：百万円

科目	22 / 2期	23 / 2期	前年比
売上高	27,300	30,333	+11.1%
売上総利益	8,725	8,129	△6.8%
販管費	7,291	7,606	+4.3%
営業利益	1,434	523	△63.5%
営業外損益	577	523	△9.3%
経常利益	2,011	1,046	△48.0%
特別損益	833	—	—
税引前利益	2,844	1,046	△63.2%
当期純利益 (※)	1,808	615	△66.0%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益

部門別売上高の内訳

MORESCO

単位：百万円

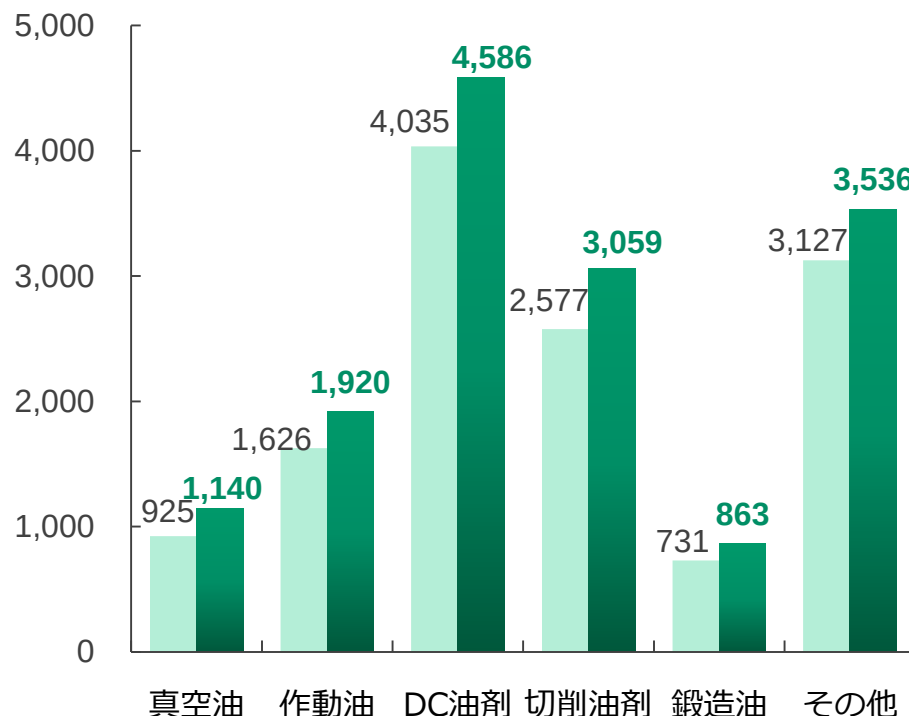
科目	22/ 2期	23 / 2期	前年比
特殊潤滑油部門	13,021	15,105	+16.0%
合成潤滑油部門	1,974	1,703	△13.7%
（うち、HD潤滑剤）	678	613	△9.7%
素材部門	3,480	3,793	+9.0%
ホットメルト接着剤部門	6,785	7,664	13.0%
その他	2,031	2,068	+1.8%
化学品事業計	27,292	30,333	+11.1%
ビル事業	8	—	—
売上高合計	27,300	30,333	+11.1%

➤ 部門全体の売上は前年比16.0%増（15,105百万円）
数量は1.0%減

単位：百万円

■ 22 / 2期

■ 23 / 2期



➤ 日本

主要顧客での自動車生産台数減の影響を受け数量は減少

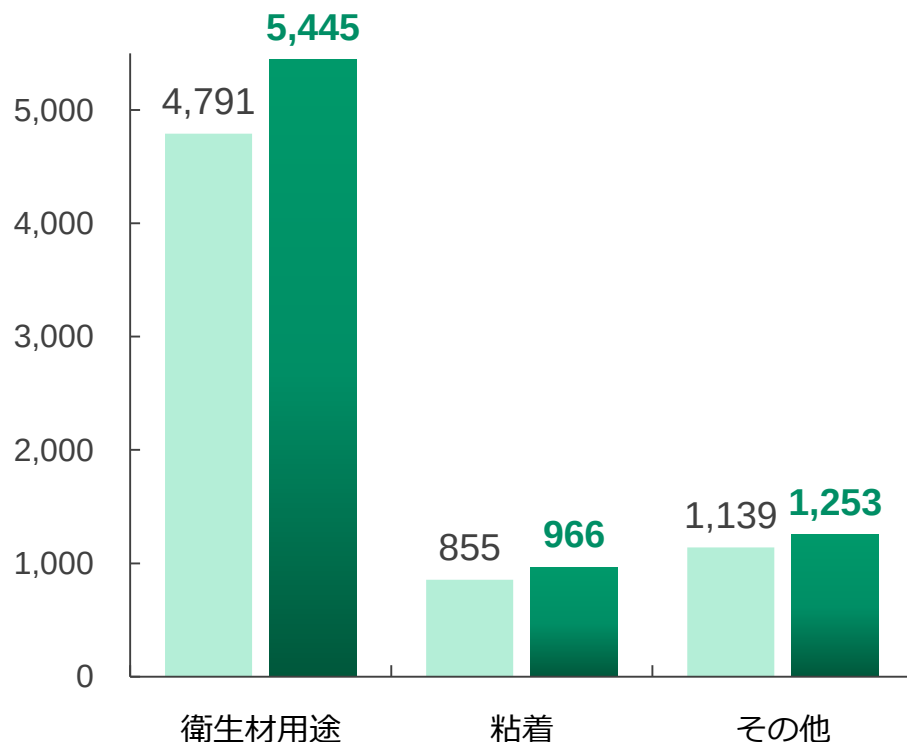
➤ 海外

東南アジアは下期以降の市場の回復により数量増
中国は前期並みの数量

- 部門全体の売上は前年比13.0%増（7,664百万円）
数量は3.3%増

単位：百万円

■ 22 / 2期 ■ 23 / 2期



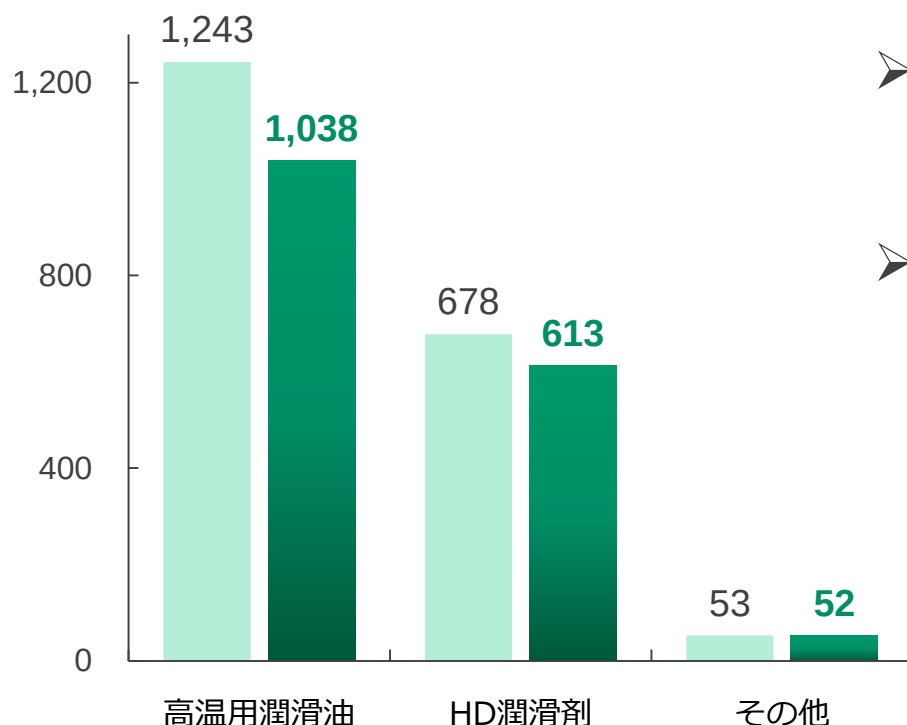
- 日本
衛生材用途が堅調、粘着用途が増販
- 海外
インドおよびインドネシアで増販

➤ 部門全体の売上は前年比13.7%減（1,703百万円）

単位：百万円

■ 22 / 2期

■ 23 / 2期2



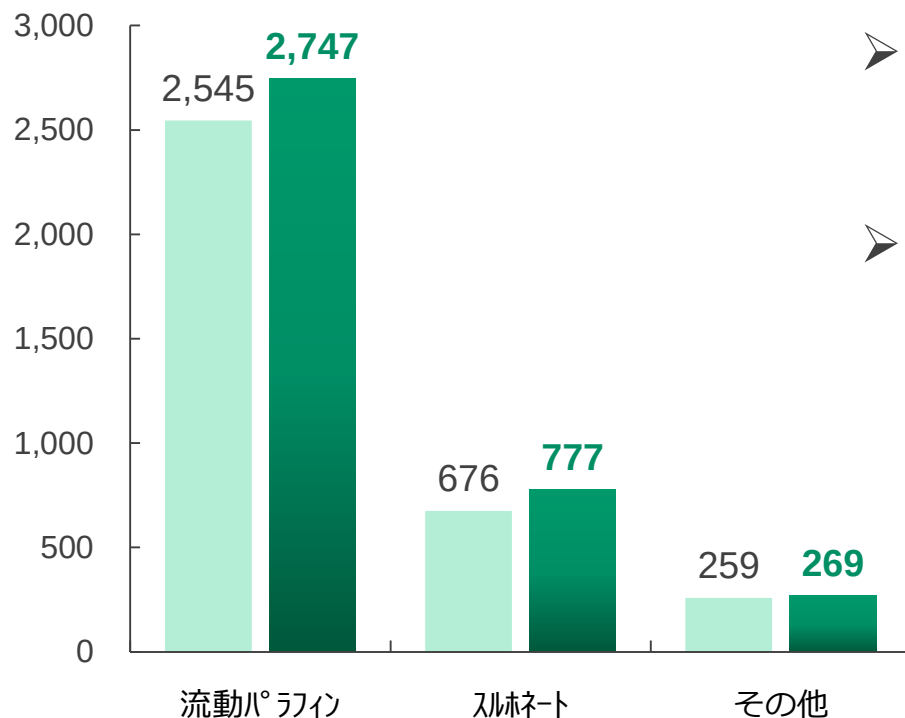
- **高温用潤滑油**
顧客での在庫調整の影響を受け減収
- **ハードディスク表面潤滑剤**
データセンター投資の冷え込みの影響により減収
(中期的にはデータセンター用途でのHDD需要増を見込む)

➤ 部門全体の売上は前年比9.0%増（3,793百万円）
数量は9.3%減

単位：百万円

■ 22 / 2期

■ 23 / 2期



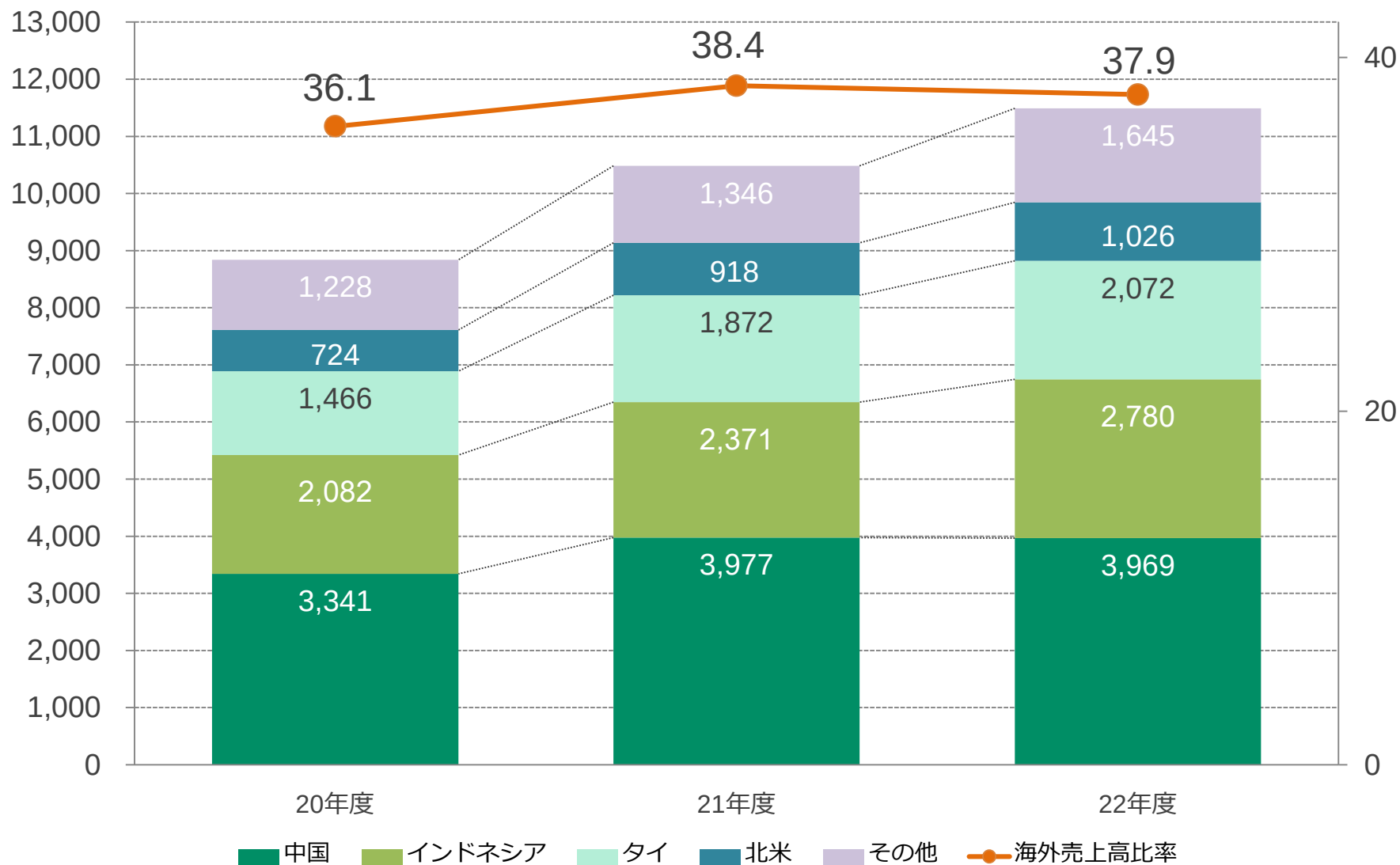
- **流動パラフィン**
ポリスチレン可塑剤用途等数量は減少
- **スルホネート**
国内主要顧客での自動車生産台数減の影響を受け数量は減少

海外売上高（連結）

MORESCO

単位：百万円

単位：%



決算概要 連結損益計算書



単位：百万円

科目	22 / 2期	23/ 2期	前年比
売上高	27,300	30,333	+11.1%
売上総利益	8,725	8,129	△6.8%
販管費	7,291	7,606	+4.3%
営業利益	1,434	523	△63.5%
営業外損益	577	523	△9.3%
経常利益	2,011	1,046	△48.0%
特別損益	833	—	—
税引前利益	2,844	1,046	△63.2%
当期純利益 (※)	1,808	615	△66.0%

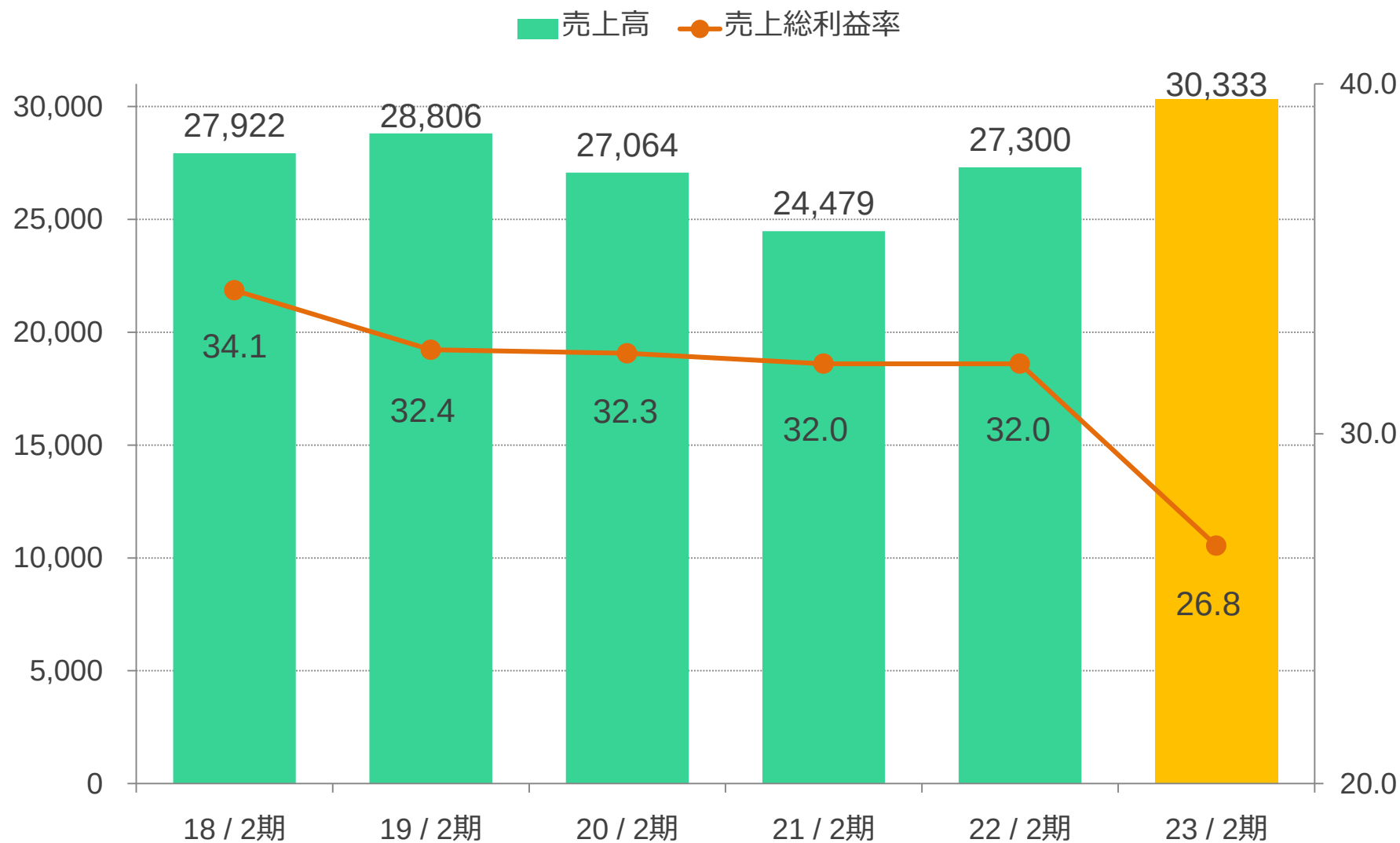
(※) 親会社株主に帰属する当期純利益

売上高、売上総利益率の推移

MORESCO

単位：百万円

単位：%



決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	22 / 2期	23/ 2期	前年比
売上高	27,300	30,333	+11.1%
売上総利益	8,725	8,129	△6.8%
販管費	7,291	7,606	+4.3%
営業利益	1,434	523	△63.5%
営業外損益	577	523	△9.3%
経常利益	2,011	1,046	△48.0%
特別損益	833	—	—
税引前利益	2,844	1,046	△63.2%
当期純利益 (※)	1,808	615	△66.0%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円

	22 / 2期	23 / 2期	増減	前年比
販売費・一般管理費	7,291	7,606	+315	+4.3%
うち、研究開発費(※)	1,359	1,246	△113	△8.3%
売上高販管費比率	26.7%	25.1%		
売上高研究開発費比率	5.0%	4.1%		

(※) 組織改編の影響により研究開発費は減少している。この影響を除くと、前期比1.8%の増である。

決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	22 / 2期	23/ 2期	前年比
売上高	27,300	30,333	+11.1%
売上総利益	8,725	8,129	△6.8%
販管費	7,291	7,606	+4.3%
営業利益	1,434	523	△63.5%
営業外損益	577	523	△9.3%
経常利益	2,011	1,046	△48.0%
特別損益	833	—	—
税引前利益	2,844	1,046	△63.2%
当期純利益 (※)	1,808	615	△66.0%

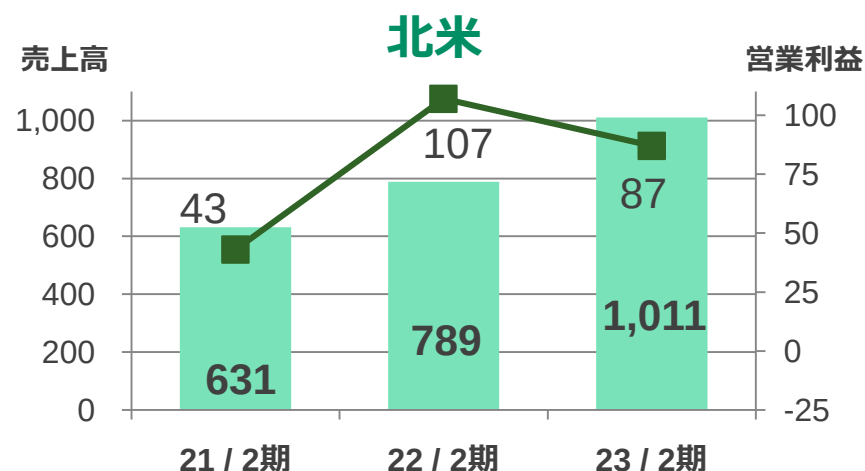
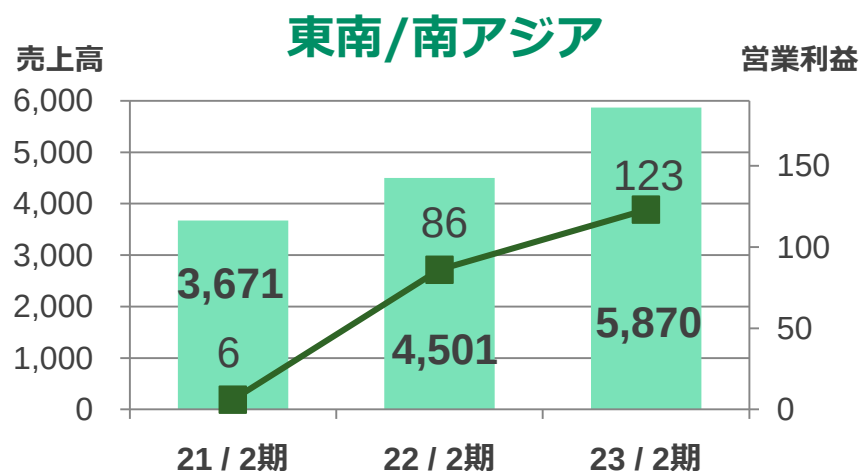
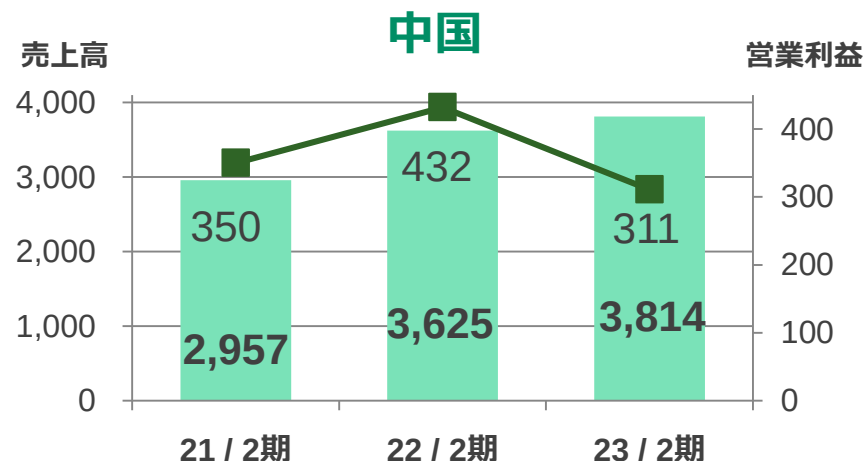
(※) 親会社株主に帰属する当期純利益

地域別損益（連結）

MORESCO

■ 外部顧客への売上高 ■ 営業利益

単位：百万円



決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	22 / 2期	23/ 2期	前年比
売上高	27,300	30,333	+11.1%
売上総利益	8,725	8,129	△6.8%
販管費	7,291	7,606	+4.3%
営業利益	1,434	523	△63.5%
営業外損益	577	523	△9.3%
経常利益	2,011	1,046	△48.0%
特別損益	833	—	—
税引前利益	2,844	1,046	△63.2%
当期純利益 (※)	1,808	615	△66.0%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益

貸借対照表（連結）

MORESCO

単位：百万円

科目	23 / 2期末	増減	科目	23 / 2期末	増減
現預金	4,256	255	仕入債務	5,144	836
売上債権	7,595	752	有利子負債	2,853	1,943
棚卸資産	6,306	979	その他流動負債	2,074	△319
その他	653	217	その他固定負債	707	△140
流動資産計	18,810	2,203	負債合計	10,778	2,321
有形固定資産	8,610	307	資本金・資本剰余金	4,095	1
無形固定資産	589	△43	利益剰余金	13,760	242
投資その他	4,008	543	自己株式	△567	△183
固定資産計	13,207	806	包括利益累計額	1,246	511
			非支配株主持分	2,706	117
			純資産合計	21,240	688
資産合計	32,017	3,009	負債・資本合計	32,017	3,009

注）増減：22/2期末との比較

単位：百万円

科目	22 / 2期	23 / 2期	増減
設備投資額 合計	1,279	1,318	+39
MORESCO	340	311	△29
連結子会社	939	1,007	+68
減価償却費	1,210	1,212	+2

主な設備投資（取得ベース）

- 莫莱斯柯（浙江）功能材料有限公司
特殊潤滑油生産工場の建設（建設中）
- エチレンケミカル(株)
事務棟の建設（完成）

単位：百万円

科目	22 / 2期末	23 / 2期末	増減
短期借入金※	560	2,381	+1,822
長期借入金	350	472	+122
借入金合計	910	2,853	+1,943

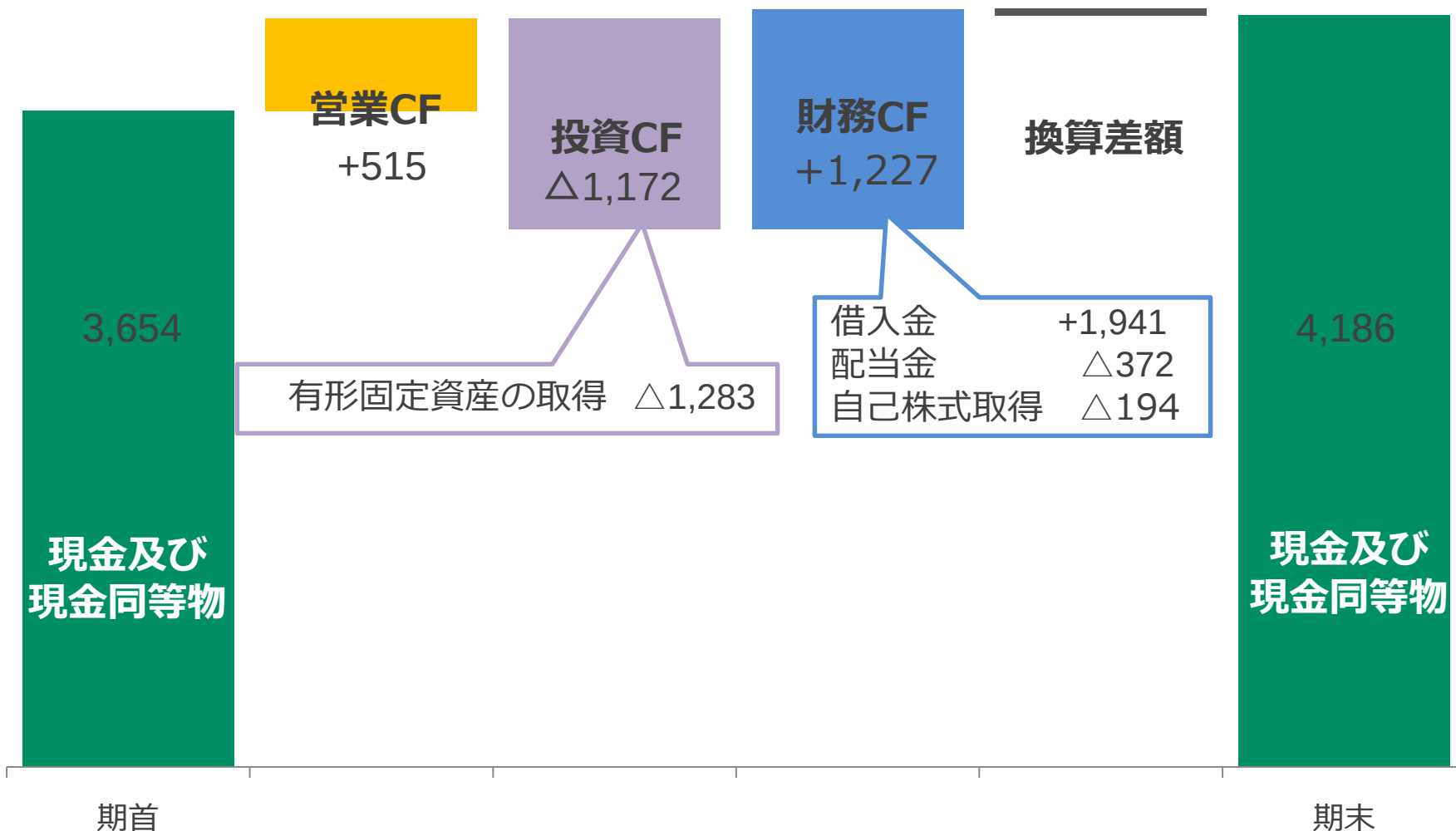
有利子負債比率	3.1%	8.9%
---------	------	------

※ 1年以内返済予定の長期借入金を含む

キャッシュフロー（連結）

MORESCO

単位：百万円



2023年度 連結業績予想

MORESCO

単位：百万円

科目	2022年度実績	2023年度予想
売上高	30,333	34,500
営業利益	523	1,400
経常利益	1,046	1,600
当期純利益	615	700

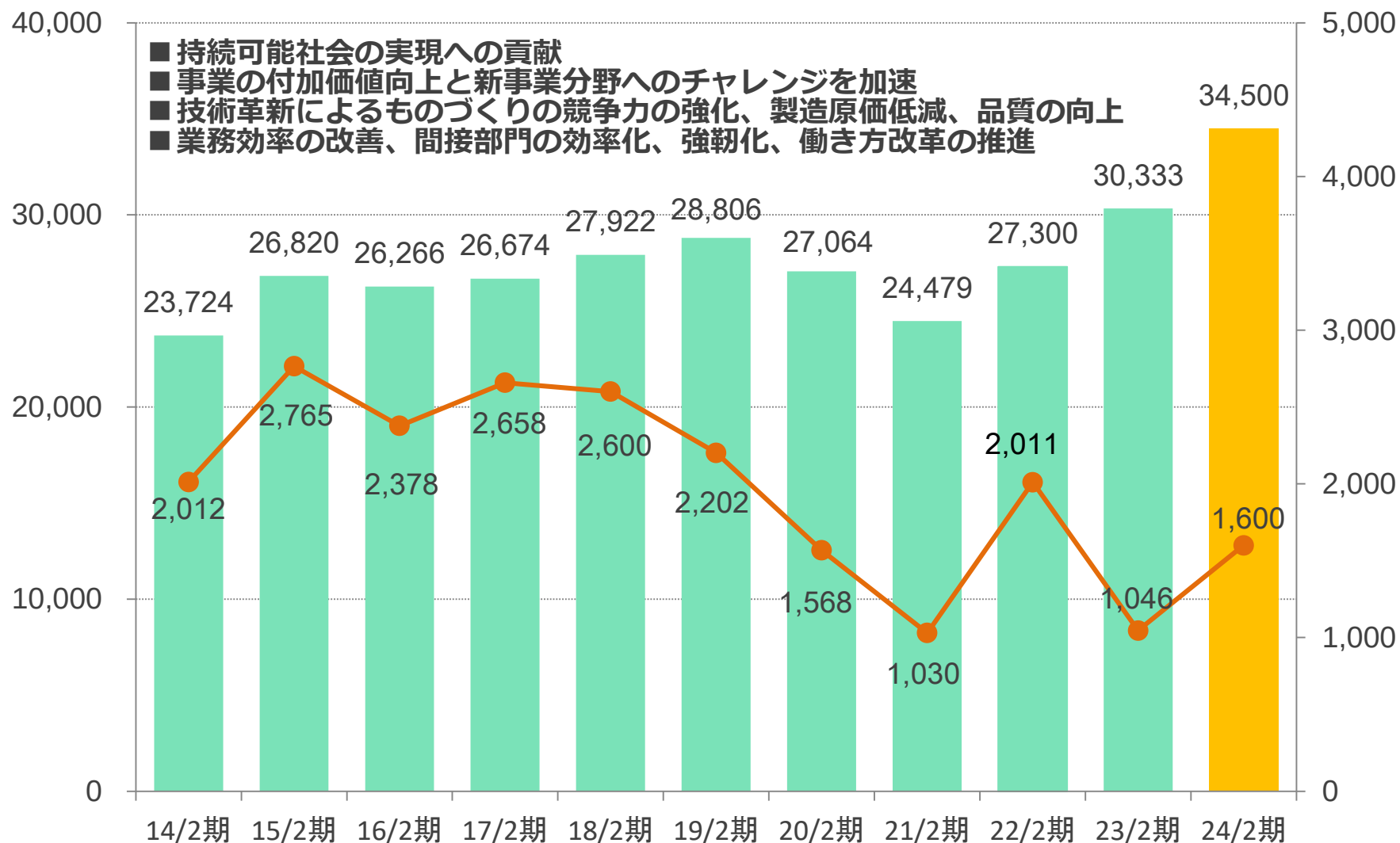
中期経営計画

直近の業績と第9次中期経営計画

MORESCO

■ 14/2～22/2期売上高 ■ 23/2～24/2期売上高（計画） ● 経常利益

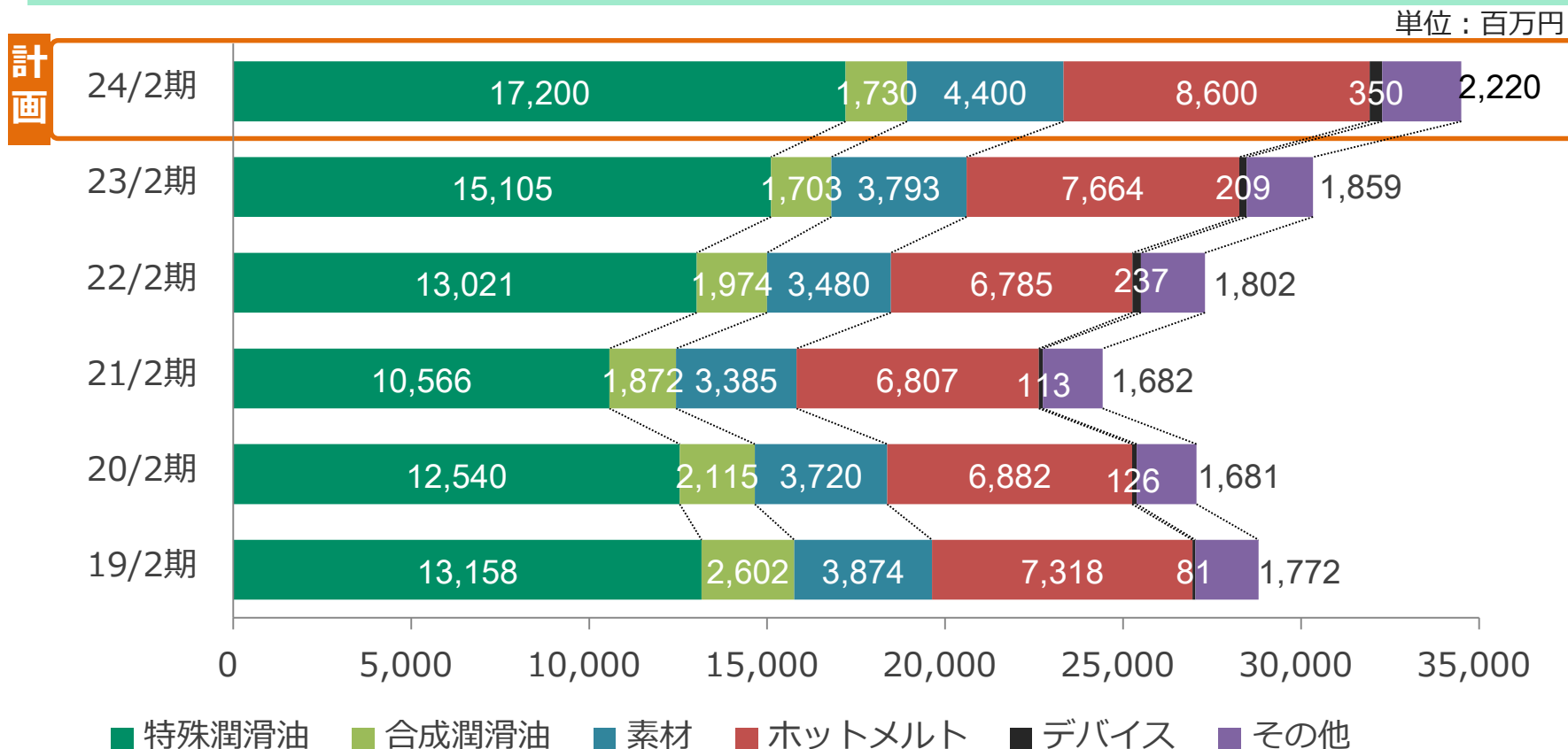
単位：百万円



中期計画 部門別売上高の推移（連結）

MORESCO

- 特殊潤滑油：日本・中国市場での環境対応車への対応、少量塗布型ダイカスト離型剤の拡販
- 合成潤滑油：高温用潤滑剤の用途開発、海外展開、次世代磁気ディスク用表面潤滑剤の開発
- ホットメルト接着剤：環境配慮型製品の開発促進、東南/南アジアでの拡販
- デバイス材料：有機EL向け封止材の海外展開加速
- ライフサイエンス分野での新ビジネス創出
- サステナビリティ経営の推進

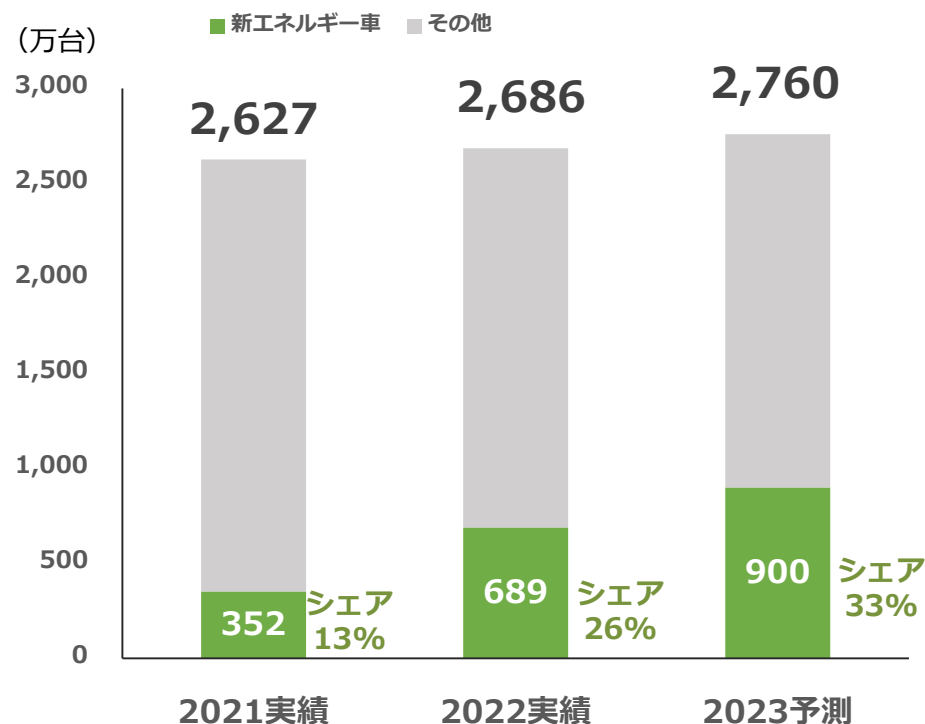


持続可能社会の実現

新エネルギー車* 向けの新製品開発

- 新エネルギー車市場を牽引する中国で軽量化部材向け新製品を開発し、グローバル展開を図る

中国国内自動車販売台数推移



出典：中国自動車工業協会の統計データに基づく自社作成

新エネルギー車に必要な自動車軽量化に注力

ダイカスト分野

- ✓ ギガキャスト薄物大型部品(一体化/構造成) 用離型剤
：新合金対応、少量塗布(水溶性・油性)/希釈タイプ
- ✓ 非黒鉛系ALスクイズキャスティング用離型剤
- ✓ Mg自動車部品用離型剤

鍛造分野

- ✓ 非黒鉛系AL鍛造用潤滑剤

切削加工分野

- ✓ E-アクスル、バッテリーケース向けAL用切削油剤
- ✓ Mg自動車部品用シンセティック切削油剤

新たな塑性加工分野

- ✓ Pressforming(AL)用離型剤への本格参入
- ✓ 非鉄系(AL,Cu,Mg)冷温間プレス潤滑剤への本格参入
- ✓ 大手EV電池メーカー向けインパクト成形用潤滑剤

*中国政府は電気自動車（EV）とプラグインハイブリッド車（PHV）、燃料電池車（FCV）を新エネルギー車と区分する

少量塗布型ダイカスト離型剤

➤ 気候変動および生物多様性に貢献

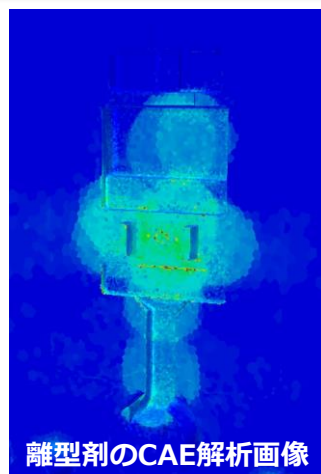
✓ CO2削減効果
7.5トン/年以上

✓ 廃水削減効果
200トン/年以上



* 従来離型剤と比較し、ダイカストマシン 1 台当たりの計算数値

➤ 塗布状態のシミュレーションによる可視化と数値化

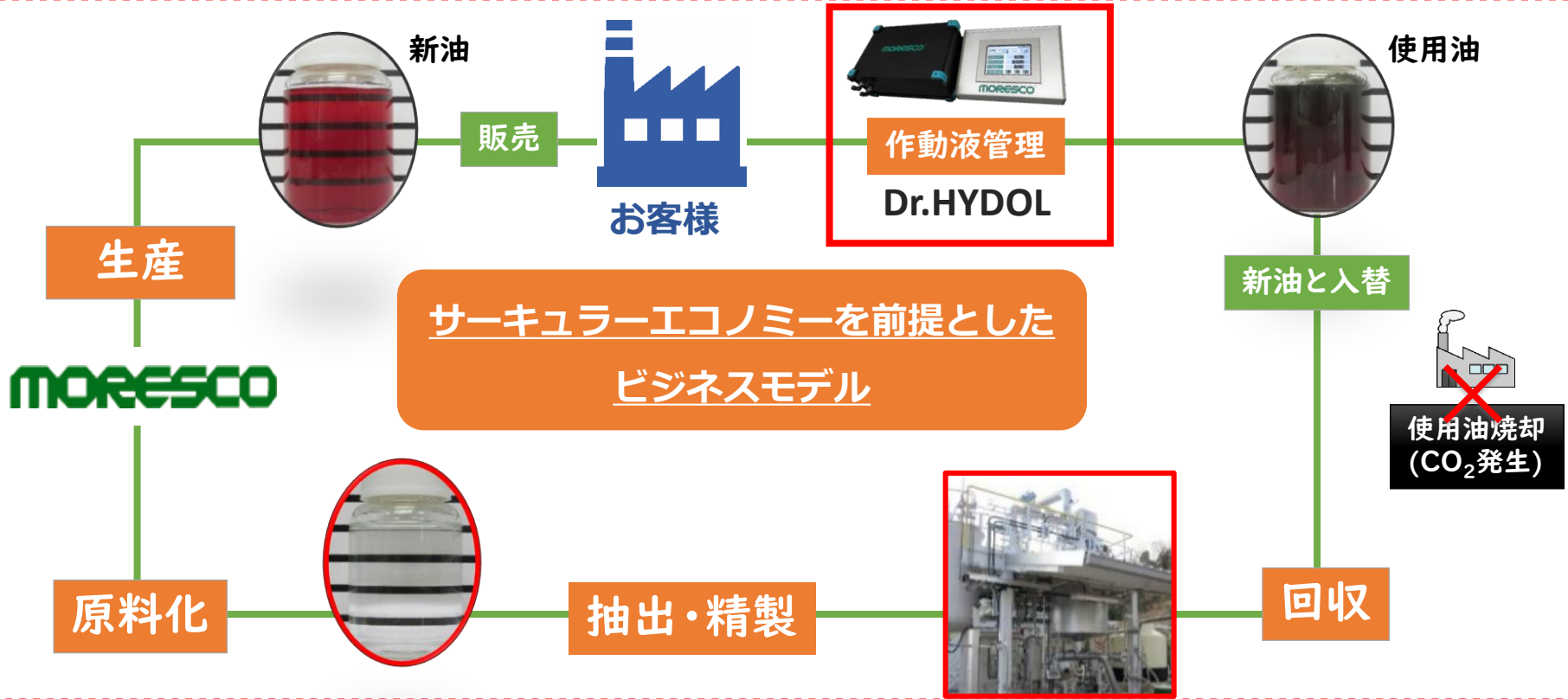


3Dスキャナー等の設備を用いて塗布状態を可視化
CAE解析で塗布面積&膜厚を数値化

- ✓ 機械の立ち上がり期間の削減
- ✓ 新製品開発時の金型調整などの段取りを最適化
- ✓ 品質向上に貢献

難燃性作動液のリサイクルシステム

従来のビジネスモデル



難燃性作動液の即時分析装置Dr. HYDOL^{MORESCO}

作動液の状態が **その場で、すぐ、わかる！**

【測定項目】



動粘度

- ・潤滑性能維持・射出条件安定に繋がる
突発故障の予防！
迅速な異常検知！



水分

- ・水分量の変化が粘度変化に繋がる
水分の蒸発・混入がわかる！



汚染度

- ・設備トラブルに直結する重要項目
外部からの混入物や異常摩耗などを検知



▲ 常設型



▲ ポータブル型

設備トラブル低減！作動液管理を効率化！

(株)マツケンの膜処理装置で液肥濃縮

- 薬剤を使わず物理的ろ過で液肥を濃縮することで液肥の利用コストを削減
- 岡山県真庭市のバイオ液肥濃縮施設に採用（2024年度稼働予定）



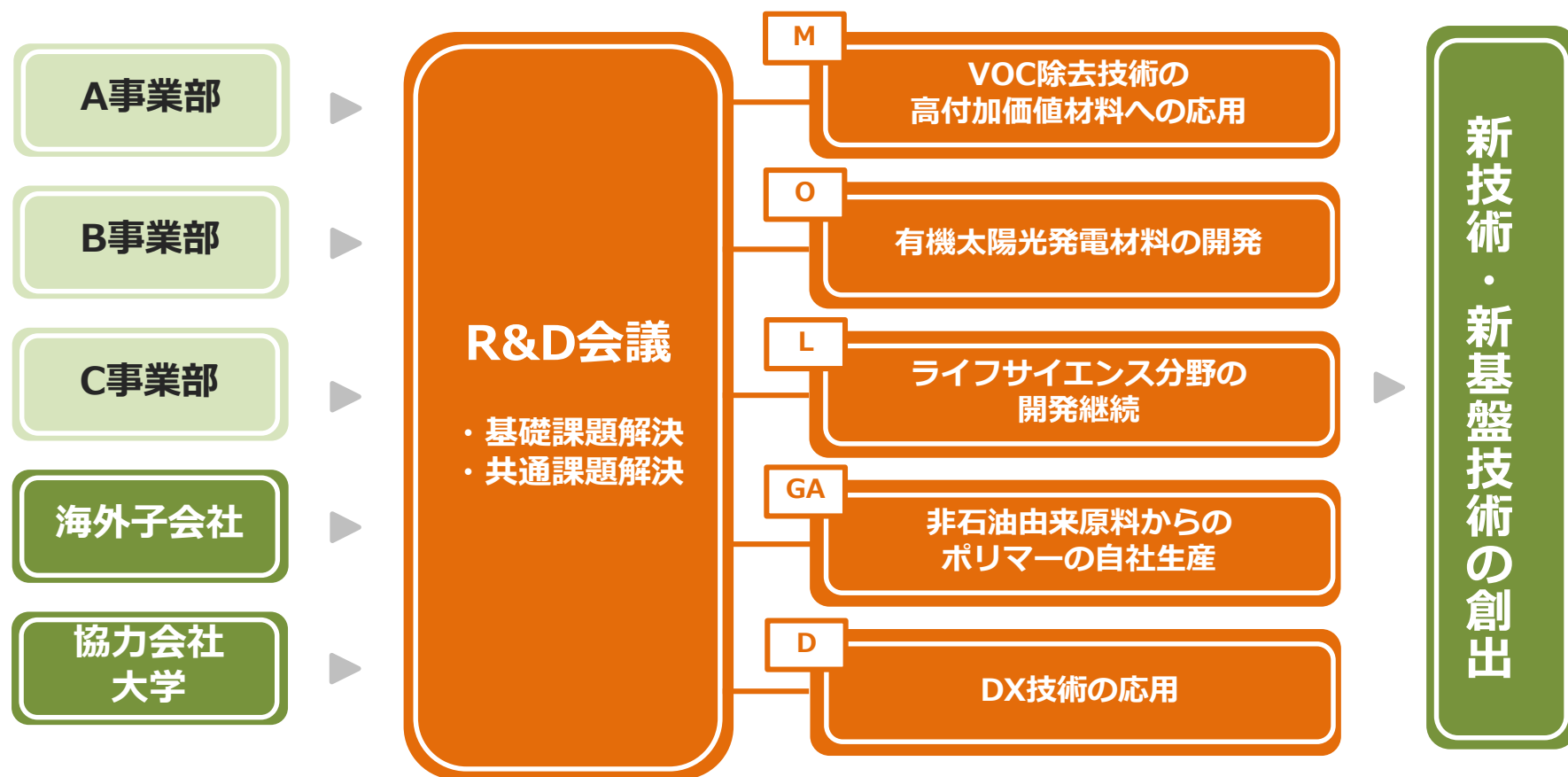
出典：真庭広域廃棄物リサイクル事業協同組合HPより引用、一部自社作成



社会課題解決に向けた 研究開発

社会課題解決に向けた研究開発体制

- 事業部を横断し、社内間および産官学と連携した開発体制
- 全社横断的なプロジェクト**MOLGAD**の立ち上げ



OPV-都市部の太陽光発電に貢献

- OPVはSi系太陽電池よりペイバックタイム*を1/3まで短縮し、環境負荷低減に貢献

* 材料から制作までに生じたCO₂の回収期間

- 大学と連携し、発電効率向上の材料を開発中

CO₂ペイバックタイム（月数）

単結晶Si系太陽電池	42
OPV（発電効率5%）	13
OPV（発電効率7%）	9
OPV（発電効率10%）	6

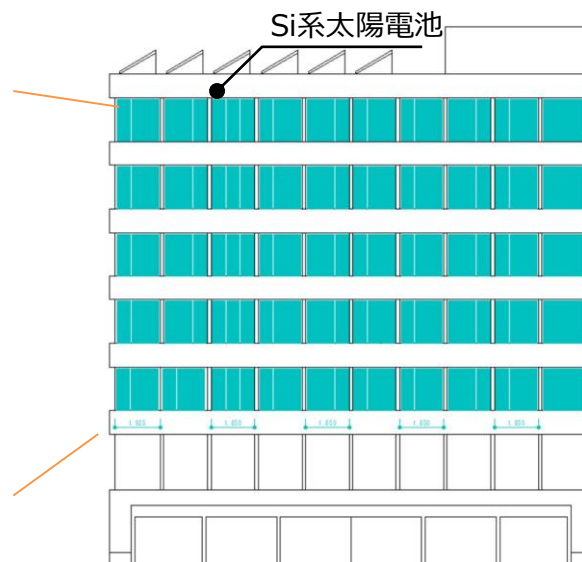
約29ヶ月削減

Si系太陽電池と併用で都市部高層ビルの太陽光発電量を増やす



ビル中層：OPV（シースルー）

使用用途例：モニター補助電源



ビル低層：OPV（印刷）

使用用途例：アルコール噴霧、環境センサー



OPV-導入実績および引合増加

- 引合件数：2022年100件（2020年20社）
- 導入実績：累計30社



山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター



南三陸

2023長崎ランタンフェスティバル



神戸どうぶつ王国



大丸百貨店（神戸）



「Playable Week 2023」
高輪ゲートウェイ駅の開業3周年記念イベント

ライフサイエンス分野の開発進捗

大学発ベンチャーと 創薬の共同研究開発を推進



生活習慣病改善を期待できる

オートファジーを対象とした創薬活動を推進

薬理活性が向上した重要化合物を取得

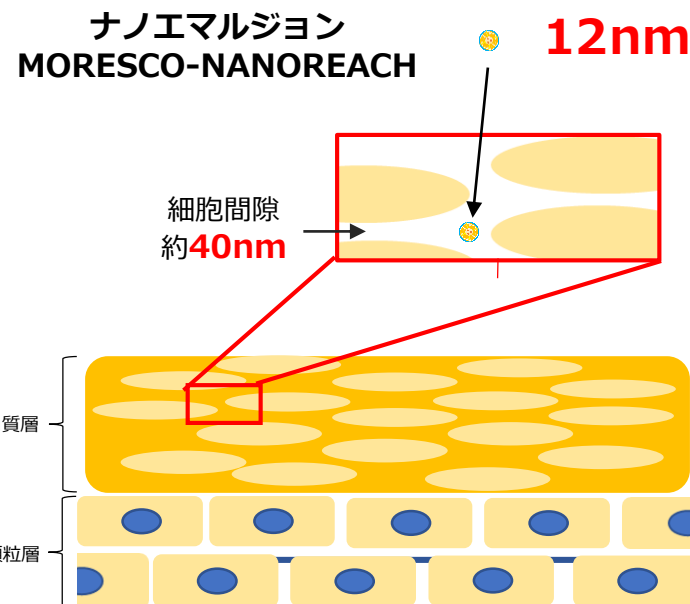
**2023年
第一弾の特許出願予定**



オートファジー研究は、老化に関連する様々な現象や疾患の予防・治療へつながる研究

大手化粧品メーカーで サンプル評価中

アンチエイジングや日焼け止め向け
ナノエマルジョンで機能性を高める効果が
期待できる



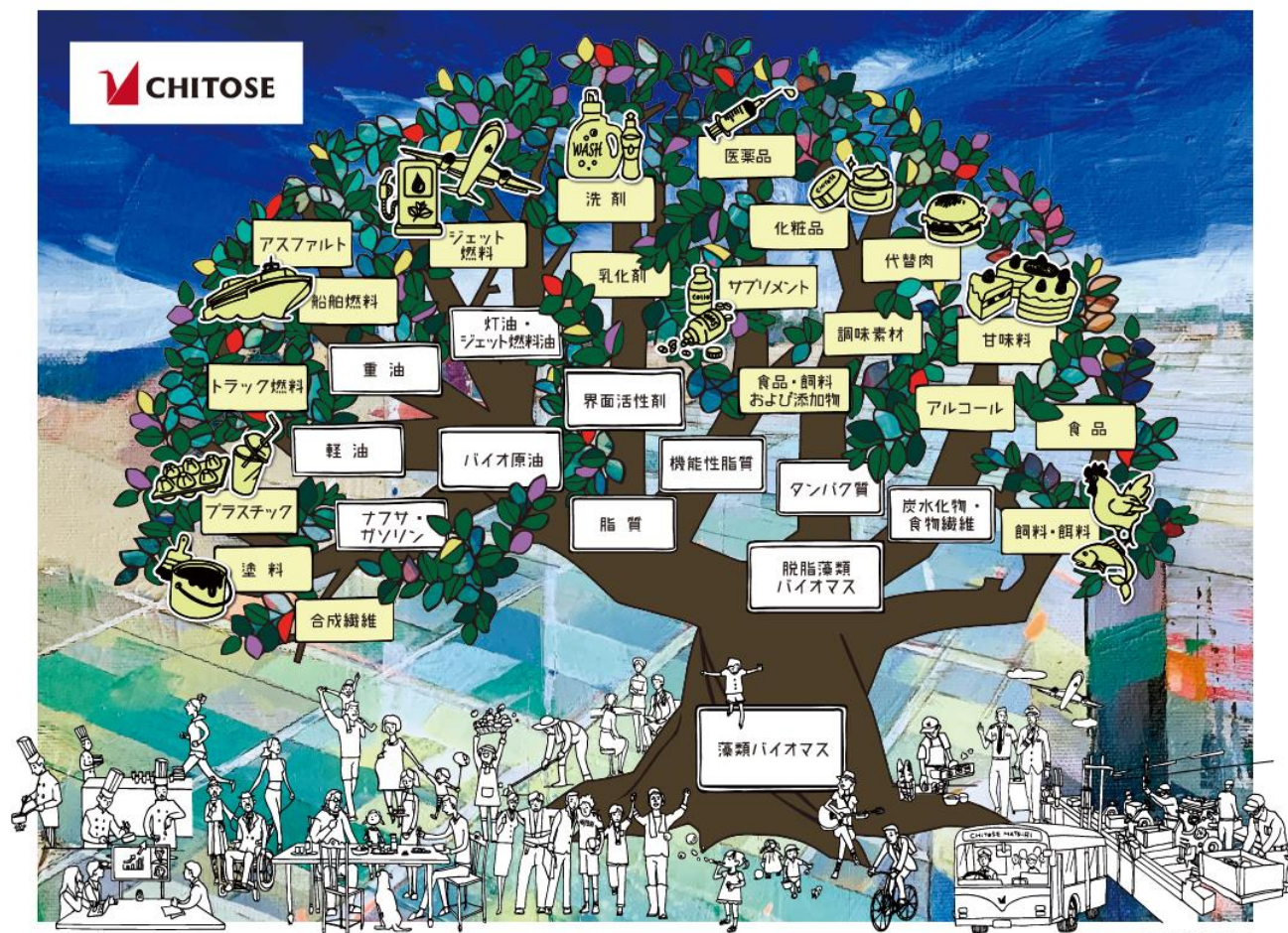
バイオマスからの石化材料の生成①



バイオマスからの石化材料の生成②

- ちとせグループが運営するプロジェクト「**MATSURI**」に法人パートナーとして参加
- 当社技術をMATSURIの**藻類**産業ツリーに組み込むことでバイオエコノミーの実現に貢献

MATSURIの 藻類産業ツリー



©CHITOSE Group

グローバル展開の加速

グローバル展開への体制強化

- 各エリアに担当執行役員を配置し、顧客ニーズに迅速に対応
- エリア別のR&D機能を強化し、新商品の上市を加速

中国

- ・ 新工場の早期安定化
- ・ 開発体制の強化（R&Dセンター新設）
- ・ 新エネルギー車への牽引役

★ 本社

北米

- ・ 同業他社との連携検討
- ・ 米系顧客への販売強化
- ・ メキシコ法人設立検討&事業拡大

東南/南アジア

- ・ タイにおける事業拡大&体制整備
- ・ ASEANのホットメルト事業拡大

中国新工場の進捗状況

【目的】 特殊潤滑油の生産能力・生産効率の向上&管理業務の効率化

【進捗】 2023年2月に工事着工、11月に本稼働の開始予定

イメージ図



工事進捗



イメージ図



工事進捗



コーポレートガバナンス

IR活動の強化

IRに関する情報発信のツールを拡充し、積極的に投資家への対話を行う

- ◆ 2023年3月1日付けでCFO傘下にIR部を新設し、統合報告書（日英）への対応等の発信機能を強化します。

	サステナビリティ 特設ページ	TCFD提言 に基づく 情報開示	ESGデータ 開示	人権DD	人的資本 経営	TNFD	統合報告書 掲載
2022年 5月	●						
2022年 11月		●	●				
2023年				●	●		
2024年						●	●

脱炭素の取り組み

2030年までに自社消費エネルギーによるGHG排出量を**46%**削減（2013年対比）

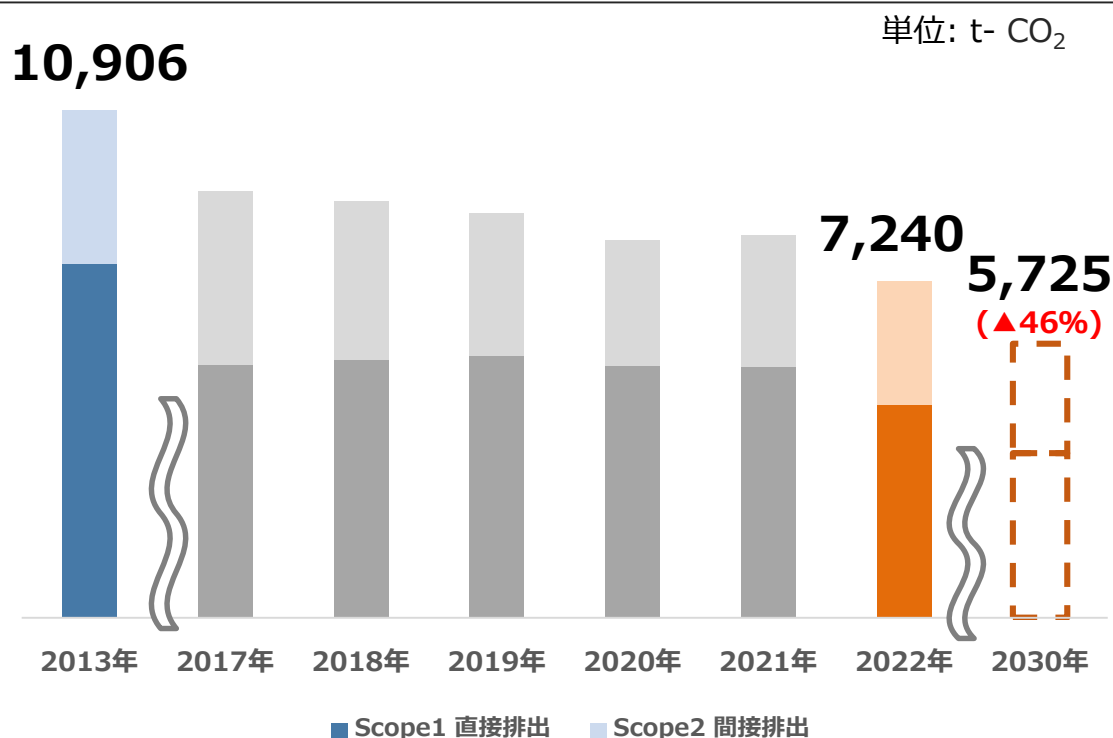
サプライチェーンを含め、**2050年**までに**カーボンニュートラル**を実現

GHG排出量 **Scope 3** の目標設定を今期中公開に向けて調整中

TCFD | TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

2022年11月11日
賛同表明

MORESCOグループ（国内）のGHG排出量推移



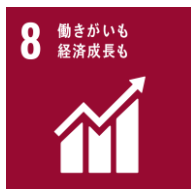
2013年対比

2021年 ▲24%

2022年※ ▲33%

※2022年削減率は当年度確定前の電力排出係数を使用した暫定数値

健康経営への取り組み



健康経営優良法人(大規模法人部門)

3年連続認定

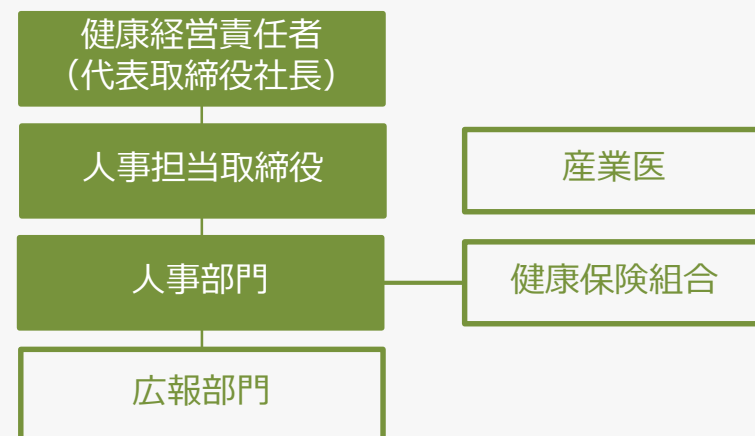


※特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度（経済産業省）

健康経営宣言

MORESCOは、従業員が心身ともに健康であることが、企業の持続的な発展に不可欠と考え、
「一人一人が豊かな環境で育ち、新たな価値を育てていく会社」を実現するため、従業員の健康づくりを推進していきます。

体制





- この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。
- 本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。
- なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。